

復興支援 活動報告書

被災支援ボランティア団体
「おたがいさまプロジェクト」 大竹 修

復興支援ボランティア・ツアーVol.08 「神戸から真備へ」が終了しましたので、
下記の通りご報告致します。

記

【活動日時】

2019年3月30日（土） 7時～19時

【活動場所】

岡山県倉敷市真備町

【ボランティア参加者数】

20名（男性6名、女性14名/内初参加6人、学生7人、当日欠席2名）



【その他】

本ツアーは赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート基金」の助成事業、また下記の
皆さまのご支援でなっております。

神戸学院大学 任意団体「ママパパお助け隊」様、4Mコンサート様、一般のご寄付

【活動内容】

- 1.学習支援
- 2.こども支援
- 3.見守り活動および、足湯&お茶会などのサロン活動
- 4.写真洗浄
- 5.次回打ち合わせ

【詳細／情報共有】

1.学習支援

場所	箭田コミュニティセンター（サンサポート オカヤマ様所有スペース）
作業時間	1.5時間（13時30分～15時）
ボランティア数	1名
受益対象者数	4名（小学6年生1名、小学1年生1名、保護者2名）
支援・協力団体	サンサポートオカヤマ様（場所提供）、つむぎママ様（告知）

作業内容	学習支援
詳細・情報共有等	サンサポートオカヤマ様のコミュニティスペースにて、高校教師のボランティアを迎え、無料の学習指導を行なった。 <活動の成果> - 適切な指導により勉強方法や進路の明確なヴィジョンを持たせた。 - 親身に対応することで、将来の不安を取り除き、前向きに考える力を養えた。 - 保護者に対しても、現在の指導方法などを説明し、子供と一緒に勉強に向き合える方法を伝えた。   チラシ 【学ぶことの楽しさを伝える】 算数が苦手な小学校1年生に、学ぶことの楽しさを伝えるよう指導。楽しそうに足し算をといてく姿を見ながら、とても意味のある時間を提供出来たと実感している。 前回参加した6年生の女の子が、再度参加して頂き、継続的な活動も出来ている。 サンサポート様より今後もスペース利用の了承を頂けたので、学習指導はもとより、進路相談や悩みなどを聞けるサロンの役割も含めて事業を行っていきたい。  (参加者とスペース前にて) 楽しく勉強もできたし、いろいろ話が聞けて良かったです！ 中学校の話も聞けたし、みんな園で楽しかったです！ との事でした！ (参加者からの感想)

2. こども支援

場所	①真備総仮設住宅	②市場仮設住宅
作業時間	①1.5時間（10時半～12時）	②2時間（13時～15時）
ボランティア数	①7名	②10名
受益対象者数	①10名	②3名
支援・協力団体	地元ボランティア4名、神戸学院大学「ママパパお助け隊」（資金提供）	
作業内容	ホットケーキ作り、レクリエーション等	

詳細・情報共有等

仮設住宅の集会所で、子供向けのホットケーキ作りとレクリエーションを行った。

＜活動の成果＞

1. ストレスを発散し、不安や悲しみを生きる強さに昇華させる支援を行なうことができた。
2. 子どもたちが地域住民と触れ合うことで社会性を伸ばすことが出来た。
3. 他人を思いやれる暖かい心を育てた。



（真備総仮設）



（市場仮設）

【被災者の方と一緒にイベントを】

初めての食べ物を使ったイベントを行ったが、機材用意や食材などを地元ボランティア数名に手伝って頂いた。その方々も被災者であり、被災者の方と一緒に活動するという理想的な事業となった。



（自身も被災者でもある三好様）

【継続的な活動を続けて】

真備総での活動は初めてだったが、別の場所に参加した方々がリピーターで来てもらえ、今までの活動が好評であったこと、継続的な活動が実ってきていると言える。



（去年のXmas以降参加して下さるご家族）

いつも楽しい企画を考えていただきありがとうございます。
どのイベントも娘が喜んで「次はいつくるん？」って親子で楽しみにさせてもらってます。

（頂いた感想）

【課題：午後の市場仮設での活動】

午後の市場仮設での参加率がとても低く、午後に行うイベントは今後ボランティアの人数調整など含め要検討とする。

ただ、市場仮設住宅自体を、地域住民が知らないこともあり、今後も継続して活動は続けていきたい。

4.見守り活動および、足湯&お茶会などのサロン活動

場所	①真備総仮設住宅	②市場仮設住宅
作業時間	①1.5時間（10時半～12時）	②2時間（13時～15時）
ボランティア数	①7名	②10名
受益対象者数	①15名	②10名
作業内容	訪問活動、足湯、お茶会などのサロン活動	
詳細・情報共有等	【訪問活動】 1軒1軒お伺いし、困りごと等の聞き込みを行った。 【足湯・お茶会などのサロン活動】 足湯・傾聴を含んだお茶会を集会所で行った。 <活動の成果> 1.被災者同士の良好なコミュニティ形成のサポートが出来た。 2.足湯でリラックスしながら、楽しんでもらい、被災者の悲しみや怒りに寄り添うことが出来た。 3.子どもイベントを同箇所で行い、全世代が楽しみ、会話が出来る場所を提供出来た。  (真備総仮設)  (市場仮設) 【子どもたちという地域の宝と一緒に。】 午前中は参加者が多く、足湯のスタッフが足りなかったのだが、その時一人の子どもが「僕が手伝うよ」とたらいにお湯を張ってくれた。 その瞬間にご年配を含めて一瞬で場が暖かくなり、とても優しい時間が流れた。  (自分から手伝ってくれた被災者の男の子) 子供達と大人が一緒に笑いあえる空間は地域コミュニティとしては理想なので、今後も積極的に行いたい。	



-傾聴内容抜粋-

「仮設に入った頃は睡眠剤がないと寝れなかったが、最近は薬もいらないし、笑えるようになった。こんな風にお話ができることがとてもありがたい」

「困りごとはありますか？」との問いに「いっぱいあります。ストレスがたまる。人間関係が特に」(この後、傾聴を続け、楽しそうに話をされた)

※残りは添付資料を参照

-情報共有-

(岡田仮設)

2月に伺った際、トイレの便座カバーがなく、貼るタイプのシートでもあれば寒さを凌げるのではと、地元で物資支援をされている石橋様にご連絡を対応をしていただきました。
今後もこのような形で別の物資支援団体と関係性を作り、仮設所の利便性を向上させたい。

4.写真洗浄

場所	倉敷市真備町災害ボランティアセンター内
作業時間	約4.5時間（9時30分～15時）
ボランティア数	18名
受益対象者数	約5名
作業内容	写真洗浄
支援・協力団体	「あらいぐま岡山」福井様（場所提供・作業指示）
詳細・情報共有等	あらいぐま岡山の福井様よりご調整頂き、写真洗浄を行なった。 ※写真洗浄とは 泥で汚れた写真を1枚ずつ丁寧に汚れを落とす作業を行う。 汚れた写真はバクテリアが周りから侵食して白くなっていく。放置しておくで見れなくなってくるので、侵攻をとめるために水・エタノール水溶液で洗浄しなくてはならない。 簡単な作業ではあるが、被災者の心に寄り添える大切な活動で、初心者には向いていると言える。 <活動の成果> 1.被災者の思い出を守り、生きる喜びを与えることができた。 2.バスを利用して大人数での効率の良い活動が出来た。 3.活動中や休憩時間などに、ボランティア同士の交流を通して、防災やボランティアの意義を感じてもらった。

【当事者の方と一緒に写真洗浄を】

今回、福井様の了承の上、地元ボランティアで被災者でもある武政様の写真洗浄を行った。

作業は誰でも出来る活動だが、その当事者とお会いすることはなかなかない。ボランティア参加者は、実際に洗っている写真の持ち主が目の前にいるという貴重な時間を。被災者の武政様は直接、ボランティアへ労う事ができた。

終わる間際に、当時のお話を聞く機会も設け、参加者の中には涙を抑えながらお話を聞く場面もあり、とても意義のある活動を行うことができた。



（受付をしている、地元ボランティアで、被災者でもある武政様：写真左）

（ご息女様と一緒に活動：写真左下）

（武政様より当時の話を伺う：写真右下）



5. その他（打ち合わせ）

場所	①岡田仮設住宅 ②川辺復興プロジェクト「あるく」
ボランティア数	1名
作業時間	10分程度
作業内容	次回（4月21日）の打ち合わせ
情報共有等	①2月に行った活動の評判が良く、同様のイベントを行うことになり、世話人の元二様にチラシを渡した。 ②新しい活動場所として川辺小学校校庭内のプレハブで、復興支援を行っているあるく代表の槇原様にチラシを渡しに行った

【所感】

平成30年7月豪雨から8ヶ月たちました。
ボランティアセンターも真備支所に移り、ハード面での復興は終わりが見え始めてきました。

そしてこの後期にどれだけ「心のケア」を行えるかで、子供達のPTSR、ご年配の孤独死を防ぐことが出来ます。

現に、仮設所のご年配の半分以上が、「仮設での暮らしに、息苦しさ」を感じているようです。

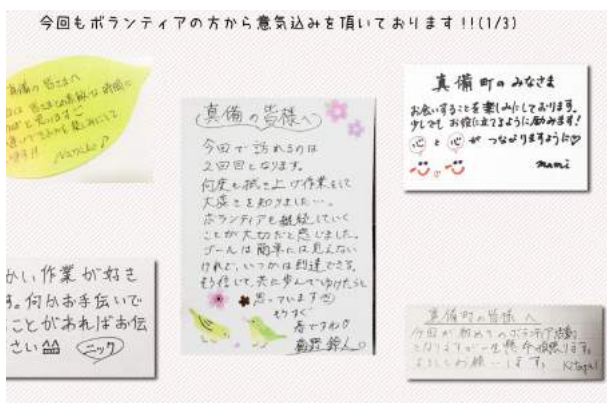
＜子供たちの為に＞

私達の団体は特にこども支援、そして子どもたちが思いやりのある心に成長する為の支援活動を重視しております。

そのためには、地域＝大人の方が健全でないといけません。

大人、子供が同じ場所で笑いあう世界。良好なコミュニティを通じて、子供は人を思いやれる大人に成長する。そして愛情を与えた子どもたちは必ず、世界を暖かく照らしてくれる存在になってくれます。

これからも、子どもたちの笑顔はもとより、大人の方の傷ついた心に寄り添い、今以上に良好な地域になるように、遠くではありますが、TwitterやLINEなどでうまく利用し、支援団体や被災者の方と信頼関係を気づきあげながら、被災地に寄り添う気持ちを忘れず、活動していきたいと思います。



(ボランティアが真備に向けた書いたメッセージ)

＜一人でも多くボランティアや防災の意義を＞

今回も約半数がボランティア未経験、学生参加（中には都内の高校生が2名も）という理想的な形になり、復興の一助になったと共に、被災地の現状、ボランティア・防災の意義を感じてもらえる、十分実りのある活動となりました。

今後も一人でも多くの方に参加してもらえよう、活動していきます。

最後にこのような機会を頂けた、中央共同募金会様。4Mコンサート実行委員会様、神戸学院大ままばばお助け隊」様、倉敷市 市民活動推進課の皆様、倉敷市社会福祉協議会様、ご寄付頂いた皆様。そして地元ボランティアや、神戸のボランティアの皆様に、心より感謝をお伝えしたいと思います。

本当に有難うございました。
おたがいさまプロジェクト代表 大竹

【今後の活動について】

4月13日・・・2018年度報告会 & ボランティア説明会

4月21日・・・復興支援ボランティアツアーVol.09



復興支援ボランティアツアー Vol.08

5月11日・・・復興支援ボランティアツアーVol.10

【傾聴アンケート7件】

聞き取り場所： 真備 仮設		
性別： 女	何歳（年代）： 70 ~ 80代	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 仮設に入った時は睡眠剤がないと眠れなかったけれど、最近は薬なくても眠れるようになった。笑うこともできるようになった。こんな園と、集会所に来れば、みんなで話して笑えるから良い。友達もできるし。 みんな被災しているから友達になれるんよ。 いつもは、お園をシワで済ませるから、足湯がさもちいね。		

聞き取り場所： 市場 仮設 集会所		19 年 3 月 30 日（土）
性別： 男・女	何歳（年代）： 80代？	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 孫が4人、ひ孫も3人いて、会うのが楽しみ。 一番下の孫が 今年 就職した。 被災した家を 建て直して、子供夫婦と住む予定。解体工事の順番待ちで、5月頃になりそうだけど、早く建て直して帰りたい。		
感想・備考		

聞き取り場所： 真備 仮設		31 年 3 月 30 日（土）
性別： 男・女	何歳（年代）：	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 幼稚園役員と一緒にいるというちも含めお話しした。 当分の状況について聴AとB復いた。4mを浸。たもうた。 TVはすぐ買。たーや、子どもが産まれた人が知らな。たーら。		

聞き取り場所:	市場仮設		2019年3月30日 (土)
性別: 男・女	何歳(年代): 39	名前・あだ名(わかれれば) すぎ	
お話内容			
町内会のリーダーだから一件づつ避難するようお願いしている間に堤防が決壊したためなにも持たずつり避難場所に向かった。そのため全てを無くした。			

性別: 女	何歳(年代): 60代	名前・あだ名(わかれれば)
お話内容		
「困り言」はありますか?との問い:「はいありますよ…。ストレスかたまる人間関係もなし、個人的なことだからいいですわ…」と答えました。		

性別: 女	何歳(年代): 60~80	名前・あだ名(わかれれば)
お話内容		
○現在 困っていること ・家が欲しい、お金のこと ・人間関係が難しい ・環境、生活の場 ↳ 騒音		

聞き取り場所:	市場仮設集会所		31年3月30日 (土)
性別: 男・女	何歳(年代): 50-70	名前・あだ名(わかれれば)	
お話内容			
被災当時の状況。何も持たずにいた所に、車が逃げた。車の渋滞でいたのを止められて、別の道で山へ避難。			
岡山県はめったに災害が起らないから大丈夫だろうと思、いたが、起きてしまったので、と20代、30代の子供もいた。			

【参加者からの感想 17件 (参加者数17名 (回収率100%))】

(10代・学生・初参加)

私は、今回のボランティア活動が初めての経験でした。今、必要とされているボランティアというのが、精神的なストレスの緩和だったりする中で、今自分にできることは何か、ということも考えさせられる内容であったと思います。また、様々な方々から「ありがとう。」という言葉もいただき、とても胸が熱くなりました。

真備町でのボランティア活動を通して感じた課題は、被災者の



(10代・学生・初参加)

感想・アドバイス
(足りなければ裏面も
お使いください)

思っていたよりも、今日来て頂いた真備の方々は楽しそうにされていた。これも、今日のボランティア活動や国の支援があったからだと感じた。(しかし、裏では経済的負担を始めた、様々な困難に見えは、社会的・精神的な悩みをかかえている被災者数多くいるのだろうと思った。そのような方々が立ちあがらず、やはりボランティアという存在は必要だと思う。活動は勿論のことだが、ボランティアという「存在」が何より必要だと考えている。

(20代・学生・初参加)



今回、初めてボランティアに参加させて頂いて、ご迷惑にはなっているのかと心配していたが、仮設の方や仮設の方が優しくお話をしてくれて、仮設の方の思いを直接聞く貴重な体験もすることができました。

足湯も行っているところ、「本当に感謝の意、これが来たんだ」と嬉しそうに話していたのが印象に残りました。

(20代・学生・初参加)

感想・アドバイス
(足りなければ裏面も
お使いください)

仮設住宅に住む人々に慰問を行い、94cの方と会話することができました。私に話している中で、知ったことは1つの部分にすぎませんが、今の真備町の現状を少しは知ることができ、有意義な時間と過ごすことができました。また、継続してボランティア活動の必要を感じました。

(40代・社会人・初参加)

感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	写真洗淨も たくさんの行程があり、短い午後の 必要だったと知りました。次に新しいカメラの 人に引きついていく作業で、出来上がったものに何人 の手も通るのかなと知りました。今日、最初 の撮影が出来なかったけれど、それを見てもう少し お牛さんを見て、少しづつ、お牛さん。
------------------------------------	--

(20代・学生)

作業内容	足湯・写真洗淨
感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	お湯を沸かすのに少し時間がかかってしまった ので、来てくださった方を待たせてしまった。沢山 の人が「せっかくやからしてもらおうね」と来てくださって嬉し かった。写真洗淨は、写真の持ち主の方と一緒に活動する ことができて、思い出の話を聞かせてもらうことが できて良かった。

(20代・社会人)

感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	③ お湯を早くお風呂準備しておかないと、待たれる方が出て くるということ。ホットペンは先端がすぐに固まってしまうので湯 せん担当の人を付けてもいいかなと...とにたくとも可愛かった。 ④ 7歳の女の子が洗淨に湯 ^力 を入れていて、それを見たお母さん が「もういいね」「良いお湯だね」 ^(また) と褒めてくれて、とても嬉しいねと おっしゃっていましたが、その直後に「またお風呂がいいね」と
------------------------------------	--

(20代・学生)

今日、これも支援では、知2の湯せんを時間と要レ
てしまったこと反省点である。そのため、子どもが
手配余ってしまった。何度も困らせてしまったかも。
写真洗淨では武政さんのお話を聴きながら
活動し、101枚の写真の思い出がどれほど強いかに
感じることをできた。今日活動に参加してとても良かった。



(30代・社会人)

感想・アドバイス
(足りなければ裏面も
お使いください)

① 前は写真を洗う、乾かすという、スバリ写真洗淨。今回はその前段階で
写真をアルバム台紙からはがす作業。予想以上に人の手がぬけているのに驚きました。
② 住民の方とボランティアの人数がほぼ同じでした。うまく助けにしてくれたのが、わかりませ
んが、継続こそ心理的ボランティアだと感じました。これをやっていくことが無く
なると、それも悲しく感じること、と思います。住民同士の交流の
きっかけに「ぬいば」と願っています、今日の活動が

(20代・社会人)



子どもと遊んだり、仮設の方と話しをした。仮設住宅への訪問
仮設住宅への訪問をした感想は訪問してお話しした
方はほとんど来られたように感じる。在宅されていない方や
おせと引いていたり、朝に買い出しに出ていたので今日は
疲れたのでやめておくと言った方が多かった。
足湯はお話ししたが、少し暖かくなったのも要因なのか断
る人が多く、7人だけだった。「神戸からは良く来て欲しい」という声もあった。

(20代・社会人)

① 訪問していて、気になる方がいたら仮設の番号(?)や
名前をメモしておいた方が良いでしょうか？
お一人男性がいらっしやいましたか、えーいらないなくなっ
ていて心配になりました。遠慮されている方がけっこう多いなと
思いました。② 子ども同士で関わるようなイベントもする。
学習会など、毎年ごとに担当分けして後継人でやる。(1人でも2人以上
でやるのがいいと思います)



(20代・社会人)

感想・アドバイス
(足りなければ裏面も
お使いください)

写真洗淨は、アルバムから一枚一枚写真を取り出し、選別するというのが
作業でしたが、被災者の方の思い出の大切な写真を一枚一枚と
お話しして、お返ししたいという気持ちになりました。
訪問の日は、特に寒い日でしたが、それでも、確かに自分の
ことを話すことで、会の間だけでも被災者の方々が安心してい
る様子に感じたので、とても幸いです...

(40代・社会人・初参加)

今回は準備は初めてボランティアさせていただきましたが、みなさんが復興できていると感じました。大それた思い出を話している被災者の話を写真を見ながら、深く考えさせられることもあり、これからの心のケアをしていくことは大切だと思います。本日は参加させていただきありがとうございました。



(30代・社会人・初参加)



今日が初めてのボランティア活動でとても良い経験になりました。ボランティアといえは、やはり撤去するイメージが湧いたが、今回行ったことはとても重要なことなので実感できました。本当にありがとうございました。